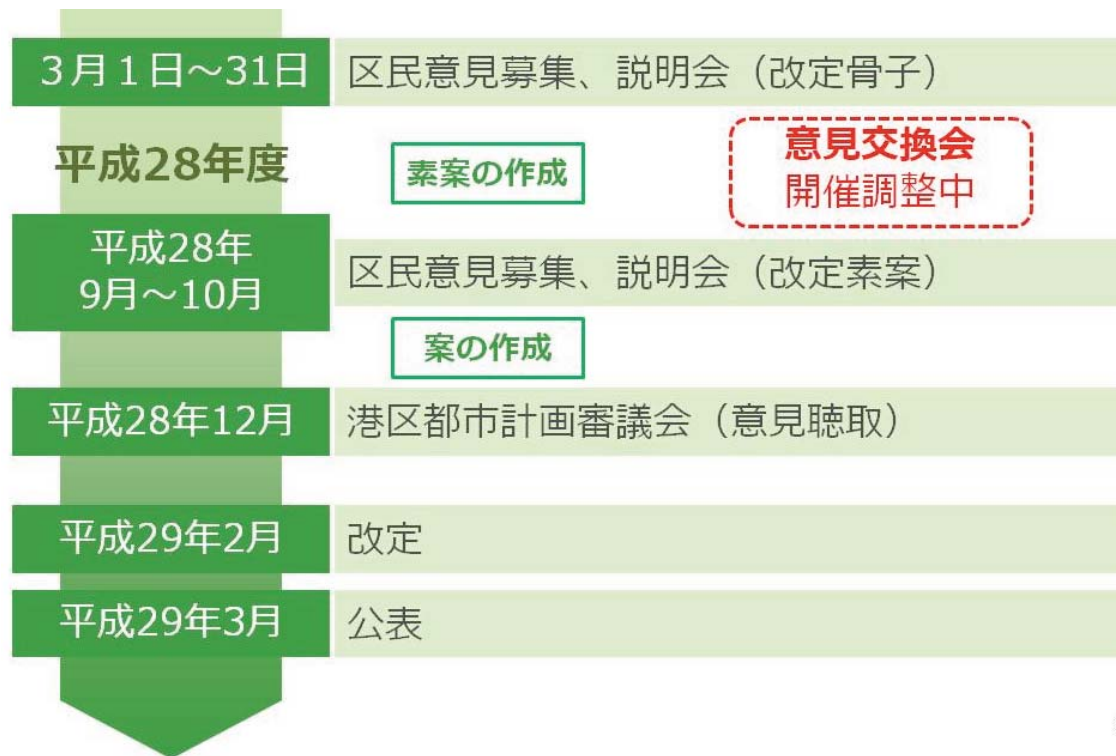


◆◆まちづくりマスタープランの今後の改定スケジュール◆◆

「港区まちづくりマスタープラン」の今後の改定スケジュールは、以下の流れとなります。
 平成28年度の意見交換会については、平成28年度前半（5月～6月予定）での開催を調整しています。4～5月に詳細をお知らせする予定です。みなさまお誘い合わせの上、ご参加の程どうぞよろしく
 お願いします。



◆◆平成27年開催の意見交換会（赤坂地区）の様子◆◆



まちづくりマスタープランや意見交換会について感想やご意見などお寄せください！
 また、意見交換会への参加者を引き続き募集していますので、ご希望の方はご連絡下さい。
 港区 街づくり支援部 都市計画課 街づくり計画担当
 TEL 03 (3578) 2235、FAX 03 (3578) 2239
 〒105-8511 東京都港区芝公園 1-5-25（港区役所本庁舎 6 階）

港区まちづくりマスタープラン
 意見交換会ニュース

赤坂地区
 平成27年度
 総括号
 2016.3

港区まちづくりマスタープラン（改定骨子）
 を取りまとめました

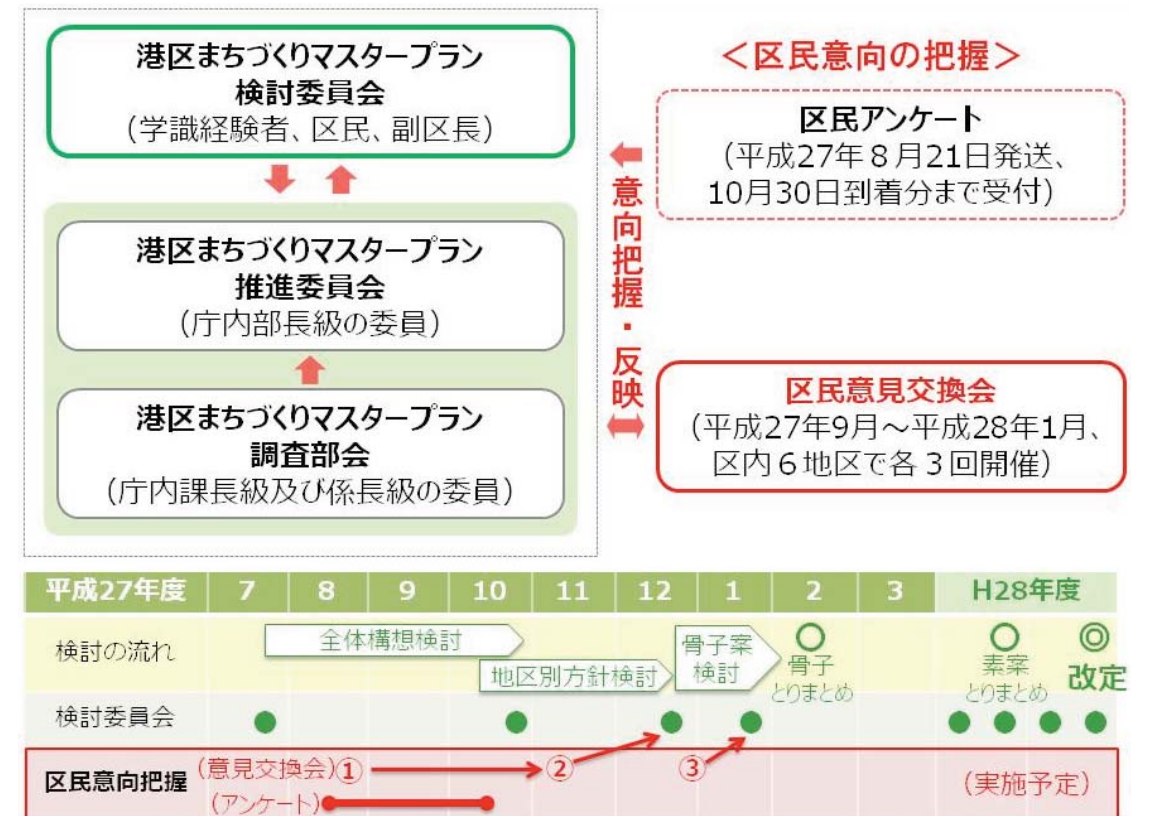
平成27年度に全3回開催した「港区まちづくりマスタープラン意見交換会（赤坂地区）」にご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

港区では、「港区まちづくりマスタープラン」の改定にあたり、区民参画のもと、専門的かつ幅広い意見を反映させるため、学識経験者や公募区民等が委員となる検討委員会や、幅広い分野の視点から、まちづくりの方向性を全庁的に検討する推進委員会等を立ち上げ、「港区まちづくりマスタープラン（改定骨子）」を検討してきました。

また、委員会等での検討と並行して、無作為抽出による区民3,600人を対象とした区民アンケートの実施や、皆さまにご参加頂いた区民意見交換会を開催し、きめ細かな区民意向を把握しました。

本ニュース総括号では、全3回の意見交換会にていただいたご意見を「港区まちづくりマスタープラン（改定骨子）」にどのように反映したかをまとめています。裏面の見開きページをご覧ください。

◆◆これまでの検討経緯◆◆



赤坂地区で出されたご意見を整理しました

※反映したご意見・参考としたご意見の分類は、「改定骨子」の段階のものです。今後、素案を作成するにあたり、具体的な記載を検討する中で、出来る限りご意見を反映していく予定です。

まちの将来像について

以下のご意見は、主に平成 27 年 11 月 9 日（月）に実施した第 2 回意見交換会で出された「港区は今後どのようなまちになっていくといいか」に関するご意見です。港区まちづくりマスタープラン改定骨子を検討する上で、「将来都市像及び目指すべきまちの姿」の参考としました。

うるおいある国際生活都市

- ・みどりを大切にすまち

住みつづけられるまち

- ・移動しやすいまち

個性的で多様な魅力があるまち

- ・大人の落ち着いたあるまち
- ・知恵や文化を感じられるまち
- ・落ち着いた景観のあるまち
- ・歴史ある街並みを大切にすまち

安全・安心なまち

- ・子どもが誇らしく思えるまち
- ・助け合いのできるコミュニティのあるまち
- ・歩きやすいまち

赤坂地区のまちづくりの方針について

以下のご意見は、主に平成 27 年 9 月 15 日（水）に実施した第 1 回意見交換会で出された「地区の魅力や課題」、平成 28 年 1 月 12 日（火）に実施した第 3 回意見交換会で出された「今後どのようなまちづくりの取組を行ったらいいか」に関するご意見です。港区まちづくりマスタープラン改定骨子を検討する上で、「テーマ別まちづくりの方針」及び「赤坂地区のまちづくりの方針」に反映しました。

土地利用・活用

《趣旨を反映したご意見》

- ・民間事業者ともうまく連携してまちづくりを進めたい。
- ・民間の公開空地进行を地域の祭りで使いたい。

《考え方を参考としたご意見》

- ・地権者が積極的にまちづくりに関わるべきである。現在、地権者の会を発足させようと考えている。

緑・水

《趣旨を反映したご意見》

- ・子どもの遊び場が無い。
- ・小さな公園をもっと作る。

景観

《趣旨を反映したご意見》

- ・青山のまちづくりガイドラインのように、青山一丁目から赤坂見附まで、環状 2 号線のように整備してほしい。連続性が必要である。周辺の開発も進んでおり、人の流れができるだろう。
- ・まず表通りを整備し、地区に人を呼び込みたい。

国際化・観光・文化

《趣旨を反映したご意見》

- ・歴史あるまちであることも魅力であり、新しいものだけでなく、歴史を大切にすまちづくりを進めて欲しい。
- ・国際、観光、歴史文化が活性化のキーワードである。
- ・SNS 等を活用し、区外の人に魅力を発信したい。

《考え方を参考としたご意見》

- ・歴史を示す石碑や看板を設置する。
- ・赤坂は歴史的な資源が豊富であり、緑や坂などの資源をあわせて、街区の中を歩くまち歩きルートをつくり、まちの魅力を紹介したい。
- ・高橋是清公園、氷川神社、弁慶堀、坂、土塀やカ石、乃木邸や勝海舟、坂本龍馬等の資源がある。是清の家も移築してはどうか。
- ・芝地区のように、まち歩きのガイドの育成が必要である。
- ・氷川神社は江戸時代の山車が 9 本あり、今年修復が終わる。山車を展示して、それらをめぐるスタンプラリーなどを実施してはどうか。

住宅・生活環境・地域コミュニティ・防犯

《趣旨を反映したご意見》

- ・地域の魅力を高めることで、赤坂、青山らしい、明るい店舗を呼び込みたい。
- ・商店街で、立地可能な店の業種等について、ルールづくりができるとうい。
- ・買い物が不便である。
- ・路上の喫煙所はきちんと囲い、煙が流れ出ないようにしてほしい。

《考え方を参考としたご意見》

- ・子どもの声が聞こえるまちにしたい。（住宅・生活環境）
- ・お年寄りが集えるベンチを設置してほしい。（地域コミュニティ）
- ・南青山二丁目町会内に公園がない。御神輿を出すスペースが必要。
- ・無縁社会であることが課題である。人のつながりは大事であり、行政としてどうするのか、考える必要がある。（防犯）
- ・青山通り沿いの屋上レストランが、深夜にマイクを使うパーティーを開催している。騒音が住宅地まで届いており、住民は困惑している。

防災

《趣旨を反映したご意見》

- ・地震などの災害時に使える開けた広場があるとよい。
- ・古川の警戒警報が来ないように適切に管理すべきである。
- ・防災に役立つ案内が少ない。

《考え方を参考としたご意見》

- ・先日防災メールで古川が危険であるとの情報が流れたが、古川の所管はどこで、なぜ危険なのか。また、現在どんな対策をとっているのか。一般住民にきちんと知らせてほしい。
- ・1 町会に 1 公園。ふだんは憩いの場として、災害時に活用できる公園がほしい。

その他

《趣旨を反映したご意見》

- ・住民と区と一緒にまちづくりを考える必要がある。

道路・交通

《趣旨を反映したご意見》

- （電線の地中化）
- ・道が細く、一方通行ばかりで不便である。電線地中化を進めて欲しい。（バス）
- ・バスが日常の足である。もっと便利になってほしい。（バリアフリー）
- ・車イスの移動のため、路面のバリアフリーが重要である。（自転車）
- ・自転車道は需要の高い道路に、使いやすく整備して欲しい。入り口部分、見やすさ、サイン等の工夫をしてほしい。

《考え方を参考としたご意見》

- （道路）
- ・一方通行が多く、道路の接続が悪い。
- ・赤坂は、道が入り組んでいてわかりにくい。（バス）
- ・渋谷への都バスも無くなり、高齢者・子連れにとっては不便になった。港区と渋谷区で連携して、バスを運行して欲しい。
- ・ちいばすのルートをわかりやすくしてほしい。（自転車駐輪場）
- ・駅での駐輪場の義務付けを。
- ・公開空地に地域に開かれた自転車置き場を。
- ・自転車駐輪場は、小規模なものを多くの場所にほしい。
- ・駐輪場は駅の近くとその中間くらいに設置してほしい。
- ・商店等の駐輪場も必要。

各個別・関連計画で対応するご意見

以下のご意見については具体的な内容のため、課題や問題点として捉えて担当課へ申し伝え、各個別計画や事業等において参考にしていきます。

（繁華街の治安等について）

- ・ゴミの扱いに問題がある。通りにゴミが散乱し、カラスが散らかしており、住みたいと思えるまちではないのではないか。
- ・モラルのない営業をするお店が点在している。拡大してしまうことを住民は心配している。
- ・住宅地内に不特定多数の出入りのあるバー、レストラン、スタジオなどがあり、不特定の騒音に悩まされている。夜間は落ち着いた。（リノベーションに向けたまちづくりについて）
- ・2020 年東京リノベーション競技大会に向けたまちづくりの内容を知りたい。
- ・2020 年に再び聖火を通したい。

（シェアサイクルについて）

- ・シェアサイクルは、三輪車（大人向け）やいろんなサイズを用意して欲しい。
- （商店街の看板について）
- ・看板、商品が通りを歩きにくくしている。
- ・置き看板はバリアフリーの大きな障害であるだけでなく、子どもの交通事故の危険性も高い。看板があることで車道にはみ出してしまい、車や自転車と接触する可能性がある。
- ・安全性の観点から、応援団をつくって動かしたい。
- ・看板バスターをつくって権限を持たせられないか。看板のルールに協力してくれた店舗へのソールを設けるなど、工夫したい。

（町会について）

- ・高齢者に負担を押し付けたくない。区の商品券の配り物では、人手がないため、84 歳の女性がやむなく地区を回って配っていた。港区はお金のある区であり、区で配るべきである。
- ・神輿を担ぐ人が少ない。
- ・町会の加入率が低い。
- ・赤坂は高級マンションが建てられ、人口流入率が高いようである。しかし、マンションでは近所づきあいがないため、人の繋がりが薄くなった。

- ・町会の統合などは区主導でできないのか。このまま町会に人がいなくなったら、その地域はどうするのか。
- ・区にとっては町会があると都合がよいが、住民は町会にあまり期待していない。
- ・住民の協調性の崩壊が課題である。
- ・町会に入ることのメリットを工夫すべきである。
- ・マンション住民は、町会活動に参加していない。
- ・町会活動の維持が難しい。（ナットは外の人）
- ・区報を、新聞を取っていない世帯にも配布できるようにしてほしい。